

郷蔵米通信

2022年3月 郷蔵米生産組合

佐見の地では鳥のさえずりや春の陽射しに心癒され、もう春作業も直ぐにそこまで来ている感じがします。

この2年あまり消費者の皆様との交流会も残念ながら開催できませんでした。皆様に安心安全で美味しいお米をお届けしたく、11名の生産者の今年の決意を聞いてみました。

新人の方も新たに加わり郷蔵米も70代後半から40代まで層が厚くなり頼もしい限りです。

■今年の目標■

笹俣昭明・百合江： 家族とアイガモの助けで、膝痛を乗り越え今年もがんばるよ！
淳・ゆかり

安江好彦・扶佐子： 除草機を改良し、効果を高め増収で8俵は取りたい

安江利之・とき： 牛糞堆肥と合鴨除草・はざかけ米で美味しいお米作りをするぞ。
章哲

高木文彦・朝彦・翔： 家族3人で力を合わせ収量アップを目指します

熊崎祝・克江： コロナで色々なイベントが出来なくて残念です。特に収穫祭の時の輪投げで野菜をゲットする皆さんの笑顔が早く見たいです。

清水唯義・里美： 昨年の反省から苗を丈夫にする。除草機を適期に使う。会員さんとの交流会を工夫して実行できるようにしたい。

長谷川泰幸・彩： 冬の間も田圃に堆肥を入れ、次の田植えに向けて準備をしています今年こそは、会員さんと田植えや稲刈り、収穫祭などできる状況になる事を願います。

宋韓光・充気： 今年は家族と共に5俵をめざしてがんばるぞ！

熊崎伸一・里美： 年々気候変動を体で感じる様になり、それに負けない農業にチャレンジ！

田中英一・直子： 昨年田植機が壊れたので買い換えました！美味しいお米をつくりますのでよろしくお願いします。

和田直樹： 今年から参加させて頂く新人です。おいしいと言って頂けるような米を目指します。（豊田市から成山地区に移住してきました）

以上、2022年度の郷蔵米出荷者は今年も豊作に向け、そしてよりおいしい米づくりを目指して今年も頑張っています。

皆さん、ご声援、ご協力よろしくお願いいたします。